

**令和8年度**

**組織改編と人事異動について**

**舞鶴市**

「未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴」の実現を確かなものとするため、**組織改編と人事異動**を行います。

組織のミッションを明確化するとともに、施策間の連携による相乗効果を最大限に引き出し、**これまで積み上げてきた取組をさらに加速**させます。

また、職員一人ひとりが持つ力を存分に発揮し、「挑戦を称え、互いに支え合う」組織風土を醸成することで、複雑多様化する行政課題に対し、**変化を恐れない未来志向の市政運営を推進**してまいります。

## 1. 参事

4月1日付けで、**吉田康人氏を舞鶴市参事に任命** します。  
吉田康人氏の民間と行政に精通した知見を活かし、舞鶴市の **行財政改革と  
人事政策を抜本的に推進** します。

よしだ やすと

**吉田 康人 氏** 昭和39年8月8日生 61歳

**【所掌】**舞鶴市組織及び分掌事務に関する規則第 3条の規定により市長の所管する  
事務部局の組織を指揮監督し、施策を推進するほか、事務事業の企画、  
立案について助言を行い、特命事項の処理に当たる(部長級相当)

**【任期】**令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日

**【経歴】**会社経営、大学講師、高槻市議会議員(平成11年5月)、  
大阪市住吉区長(平成24年8月)、大阪市大正区長(平成29年4月)、  
和泉市副市長(令和3年7月)他

## 2. 組織改編

### ① 「文化・国際課」の新設(生涯学習部)

○文化振興課が担う **文化振興業務**と、みなと振興・国際交流課が担う **国際交流業務をより密接に連動**させるため、「文化・国際課」を新設し、各取組のさらなる推進を図ります。

### ② 「歴史文化まちづくり課」の新設(生涯学習部)

○近代化遺産等の **歴史文化、資源を次世代へ継承する取組を着実に推進**するため、「歴史文化まちづくり課」を新設し、重要文化財である赤れんが倉庫群の整備や、伝統的建造物群保存地区における取組を強化します。

## ③ 「舞鶴引揚記念館」を生涯学習部に編入

- **文化・国際課や歴史文化まちづくり課との連携を強化** し、引揚の史実の次世代への継承をより確実に推進するため、舞鶴引揚記念館を生涯学習部に編入します。

## ④ 「まいかつ担当課長」の配置(スポーツ振興課)

- 地域クラブ活動「まいかつ」の本格始動へ向け、参加する生徒や保護者、地域の指導者の皆様と円滑に連携し、**部活動の地域展開を力強く推進** します。

## ⑤ 「女性活躍・多様性共生推進係」の新設(市民協働推進課)

- 男女共同参画の取り組みの更なる発展を図り、**女性がより一層輝き活躍できる社会の実現と、外国人をはじめとする多様な人材が地域で安心して暮らすことのできるまちづくり**を推進します。

## ⑥ 産業振興部の再編

### 【商工・観光振興課の新設】

○地域経済のさらなる活性化を目指し、**商工部門と観光部門の連携による相乗効果を創出**するとともに、令和8年度から策定に取り組む**「観光振興ビジョン」の実効性を高め、戦略的な施策展開**を図ります。

### 【みなと・産業振興課の新設】

○**みなと振興と企業立地の連携を強化**し、港湾機能の強化が進む京都舞鶴港の持つポテンシャルをフル活用した産業発展を加速させます。

## ⑦ 「学びの環境デザイン担当課長」の配置（教育委員会）

○子ども達の成長にとって **真に望まれる教育環境と、将来を見据えた学校再編を含む検討を深め**、子どもたちの未来にとって最適な環境をデザインしていきます。

## ⑧ 「学校生活相談係」の新設（教育委員会）

○教育支援センター「明日葉」内に設置している **「いじめ相談室」の機能を拡充・強化**し、課題を抱える児童生徒や、児童生徒を支える学校現場を包括的に支援することで、より一層子どもたちの心に寄り添った伴走支援を行います。

## 3. 人事異動

職員一人ひとりが持つ力を存分に発揮できるよう、適材適所の職員配置を行うとともに、組織の活性化と若手職員や女性職員の活躍推進に積極的に取り組みます。

### (1) 人事異動の規模

正職員 770名のうち、195名 の異動

### (2) 退職者と採用者

令和7年度の退職者等は 35名

令和8年度の採用者等は 47名(令和7年度の途中採用者9名を含む。)

### (3) 職員数の増減

正職員数は 758名から、770名へ、12名の増

## (4) 積極的な職員採用

近年の少子化や公務員離れ、民間企業の積極的な採用等による志望者の減少、退職者の増加などにより、職員数確保の必要性が高まる中、昨年度に引き続き、積極的な新規採用職員の確保を行った。

**令和8年度の新規採用職員 43名**（令和7年度の途中採用者9名を含む。）

※国機関出向者の帰任に伴う採用等を除く。

※令和7年度41名（令和3年～令和7年度平均27人）

### 【新たな職員採用のための工夫】

- ・10月1日採用の実施
- ・採用年齢の引き上げや試験内容の見直し
- ・「日本一働きやすい市役所」を目指した働き方改革の推進・情報発信
- ・職員採用パンフレットの作成
- ・本市で働く職員の様子やインタビュー動画を作成・公開
- ・官公庁・自治体の職員採用に特化したプラットフォームサービスの活用

## (5) 若手職員の活躍推進

市民サービスの向上に向け、様々な課題に対応しながら、将来を見据えた施策や事業を展開していくためには、若手職員のさらなる活躍が重要である。組織のマネジメントを担う管理監督職に若手職員を積極的に登用するなど、若手職員の活躍推進に積極的に取り組む。

⇒管理職に40歳代前半の職員を、係長級に30歳代の職員を、積極的に登用

## (6) 女性職員の活躍推進

市役所は、子育て、教育、福祉、医療、防災など、市民生活に密着した様々な行政を担っており、その政策や施策を決定する過程に多くの女性が参画することは、多様な価値観での政策立案に繋がるという重要な意義を有しており、女性職員の活躍推進に積極的に取り組む。

⇒令和8年度においては、市の事業推進の中枢を担う政策推進部長として、初めて女性職員を登用

※女性部長は計2名となり、前年度から1名増

### 問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
令和8年度 組織改編と人事異動について	人事課	山本	66-1066	62-5099	j inji@city.maizuru.lg.jp